

## 第2回地方創生推進本部会議 協議録

1. 日 時:平成27年9月18日(金)15:00~16:00
2. 場 所:串木野庁舎 地下大会議室
3. 出席者:田畑本部長 石田副本部長 有村副本部長 中屋本部員 田中本部員 中尾本部員  
満菌本部員 久木野本部員 瀬川本部員 野田本部員 住廣本部員 東本部員  
後潟本部員 所崎本部員 田代本部員 福山本部員 濱涯本部員 下迫田本部員  
吉田本部員 臼井本部員 松山本部員 中村本部員 鶴田本部員 原菌本部員  
山下本部員  
事務局(出水政策課長補佐 勝田主任 橋之口主任 西ノ園主事)  
鹿児島経済研究所(上加世田参事役 下笠主任研究員)

田畑本部長 　ただ今から、第2回いちき串木野市地方創生推進本部会議を開会する。  
議事に入る前に、これまでの経過について、副本部長に説明を求める。

石田副本部長 　これまでの経過について説明。

田畑本部長 　議事に入る。  
本日の議題は、「(1)人口ビジョン(素案)について」と「(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」の2件である。  
まず、「(1)人口ビジョン(素案)」について、事務局に説明を求める。

出水課長補佐 　資料に基づき説明。

田畑本部長 　ただ今の説明について、質疑・意見等はないか。

臼井本部員 　23 ページの表現について、文言の修正をした方がいいと思う。  
「男性・女性とも「製造業」の就業者数が多くなっており、本市の基幹産業のひとつとなっています。」という表現は、意味がよく分からない。  
「男性・女性とも、本市の基幹産業のひとつである「製造業」が多くなっています。」との表現がいいのかと思うが、検討してはどうか。

田中本部員 　表現について、修正を行いたい。

田畑本部長 　ほかに意見等ないか。

なければ、「(1)人口ビジョン(素案)について」は、原案とおり案として決定してよろしいか。

(「異議なし」の声あり。)

- 田畑本部長 異議はないので、「(1)人口ビジョン(素案)について」は、案のとおり決定する。次に、「(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」について、事務局に説明を求める。
- 出水課長補佐 資料に基づき説明。
- 田畑本部長 ただ今の説明について、質疑・意見等はないか。
- 田代本部長 6ページについて、「ウッドタウン整備事業のほか、浜西住宅の建替え…」と書いてあるが、ここに地域振興住宅も追加してほしい。また、浜西住宅の建替えだけではなく、羽島地区の森木(もりき)住宅も立替えとなるので追加してほしい。24 ページについても同様である。
- 出水課長補佐 浜西住宅については、「浜西住宅等」として修正したい。地域振興住宅については、6ページでは現在の状況を述べ、総合戦略として24 ページで「地域振興住宅の建設」を掲げている。
- 田畑本部長 ほかに意見等ないか。
- 中尾本部長 27 ページで、「安心・安全なまちづくり」とあるが、ここに防犯・防災といった表現がないのはなぜか。
- 出水課長補佐 防犯・防災については、総合計画としては考えられるものであるが、ワーキンググループあるいは専門部会で協議を進める中で、総合戦略については今後5年間で重点的に進めていくものを盛り込むことで、内容を絞り込んだところである。
- 石田副本部長 ここに記載がないからということで、事業を進めないということではない。これはあくまで、総合戦略として5か年間の重点事業として、特出したものを掲載してある。
- 田畑本部長 ほかに意見等ないか。

- 所崎本部員 27 ページに記載されている、KPI の目標数値について、交流サロンの設置数を掲げているが、健康づくりを目的とするためにも、ころばん体操の実施公民館数を掲げてはどうだろうか。
- 田中本部員 意見をふまえて調整したい。
- 田畑本部長 人口ビジョンについても同様だが、KPI の目標数値については、高く設定してもらいたい。27 ページの特定健診受診率については、平成 26 年度で 56.6%となっているのに、5年後の平成 31 年度では 60%のままでいいのか。
- 所崎本部員 国は平成 29 年度までに特定健診の受診率を 60%にするよう、市町村国保に求めている。市において、特定健診の実施計画書を作成しており、平成 29 年度で 60%としている。それ以降は未定であり、今回はその数値を計上したところである。
- 田中本部員 KPI において、必要があれば目標数値の見直しが可能となっている。状況をみて対応したい。
- 田畑本部長 ほかに意見等ないか。
- 満菌本部員 25 ページに掲げている、連携中枢都市圏の形成について、目標数値を平成 28 年度の形成としてあるが、到達地点あるいはゴールの設定がこれでいいのか。
- 田中本部員 この連携中枢都市圏については、鹿児島市から形成の打診があり、平成 28 年度中に協定を結ぶスケジュールとなっている。それを見据えて、目標を掲げている。内容については協議を進めるなかで決めていくこととしている。
- 田畑本部長 ほかに意見等ないか。  
なければ、「(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」は、原案とおり案として決定してよろしいか。  
  
(「異議なし」の声あり。)
- 田畑本部長 異議はないので、「(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について」は、案のとおり決定する。  
次に、「その他」について、意見等ないか。

(意見なし。)

田畑本部長      なければ、事務局からないか。

出水課長補佐      パブリックコメント・議会報告について説明。

田畑本部長      今回、人口ビジョン、総合戦略それぞれについて案として決定した。  
今後、パブリックコメントや議会への説明を経て修正はあるが、基本的な方向は定まったところである。  
人口ビジョンや総合戦略について、目標数値が高く掲げられているが、私はそれでいいと思う。目標を高く掲げ、それに向けて行動することで、大きな成果が得られると思う。  
来月は本市誕生から10年を迎える節目であり、次の一步を踏み出す極めて重要な時期を迎える。  
総合戦略の実効にもスピード感を持って取り組むことが重要であり、盛り込む予定の事業については、早急に検討し、可能なものから来年度予算に反映させるよう進めるように。

田畑本部長      以上で本日の会議を終了する。